

県立産業技術専門校 建築設備科 講演会資料

H30. 7. 24 (火)

私たちの仕事について



お陰様で創立50周年

江坂設備工業(株)

鳥山貴生

本日の流れ

- 1. 事業概要**
- 2. 建築設備の仕事について**
- 3. 企業が求める人物像について**
- 4. これから学んでほしいこと**

1.事業概要

「給排水衛生設備」「空気調和設備」

設 立 昭和44年6月 50期

工事高 12億2千万 H29. 5

社員数 62名(男性56名 女性6名)

平均年齢 43歳 在籍年数 20年

20～30歳代 20名 多くの若手在籍

業務内容 暮らしの中の水、空気 建物に生命を与えるお仕事

管工事業、保守サービス全般

工事種類

給排水衛生設備工事

給水装置、排水設備、給湯設備、各種配管工事

空気調和設備工事

冷暖房、空調換気設備工事

消防施設工事

消火設備（スプリンクラー等）、警報設備

農業土木工事

農業用水送配水管布設

リフォーム事業・マンション大規模修繕

トイレ、バス、キッチン、洗面台等

水道施設工事

配水管布設工事、上水道事業、井戸工事等

貯水槽清掃・浄化槽・空調維持管理業務

貯水槽の清掃、浄化槽、冷暖房維持管理全般

管工事業総合設計及び施工

住宅・店舗・工場・病院・公共施設・マンション各種改修 設計見積もり

受注構成 官公庁 3 割 民間 7 割



宮崎県防災拠点庁舎
建設空調工事（J V）
平成 3 1 年度完成予定



新富町総合交流センター
機械設備工事（J V）
平成 2 7 年 1 2 月



月見ヶ丘地区配水管
布設工事（J V）
平成 3 0 年 1 月



えびの警察署
給排水衛生設備工事
（単独工事）
平成 3 0 年 1 月

2. 建築設備の仕事について

- 企画・技術営業

技術の蓄積や専門知識を活かして営業を行い受注に繋げていきます

- 設計・積算

基本計画から各種計算、実施設計図を作成致します

実施設計図を基に工事にかかる費用を算出し見積書を作成します

- 施工

設計図・施工図を基に、工程表によって作業を行いながら、実際の設備を作ります。

職人・他社との調整が必要です

- 完成

施主の完成検査や行政機関の確認を得てお客様に引き渡します

- メンテナンス

引き渡した後で問題や故障などが起きないように設備を維持管理していきます





1日のスケジュール（現場施工管理、専門職）



朝礼様子
誕生祝支給



先輩社員
新入社員
組んで仕事します



協力会社の方との
休憩様子

6 : 3 0	起床
7 : 3 0	出勤
7 : 5 0	ラジオ体操・朝礼 KY（危険予知）活動
8 : 3 0	先輩社員と同行 現場監督との打合せ 作業補助
10 : 0 0	午前休憩
12 : 0 0	お昼休み
13 : 0 0	作業再開
15 : 0 0	午後休憩
17 : 0 0	帰社、片付け 日報記入
18 : 0 0	帰宅
23 : 0 0	就寝

現場で活躍する先輩たち



左 H26 卒

右 H29 卒

下 H21 卒



10人の先輩が在籍!!

**仕事上の悩み、厳しい指導
世代違う意見でも納得感あり
離職率が低く、教育投資可能**

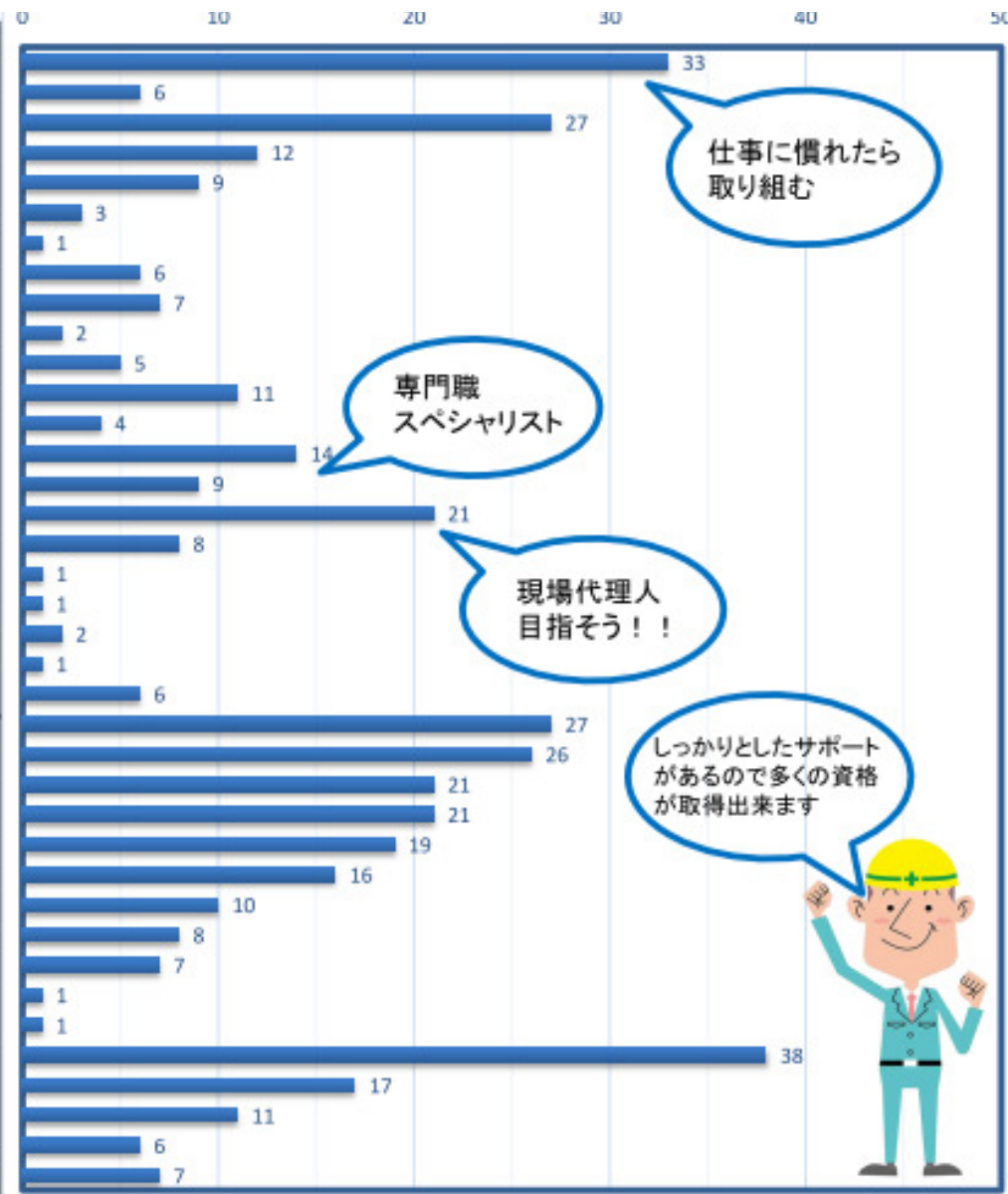


建築設備科卒の先輩たち

学ぶことは未来への投資

色んな資格にチャレンジしよう！

種別	資格名	難易度
国家資格・技能検定	下水道排水設備工事責任技術者	☆
	冷媒回収技術者	☆
	給水装置工事主任技能者	☆☆
	2級配管技能士	☆☆
	第2種電気工事士	☆☆
	液化石油ガス設備士	☆☆
	冷凍空調機技能士	☆☆
	2級管工事施工管理技士	☆☆
	2級土木施工管理技士	☆☆
	2級電気工事施工管理技士	☆☆
	浄化槽設備士	☆☆
	消防設備士(甲1類)	☆☆
	1級冷凍空調機技能士	☆☆☆
	1級配管技能士	☆☆☆
	登録配管基幹技能者	☆☆☆
	1級管工事施工管理技士	☆☆☆
	1級土木施工管理技士	☆☆☆
	測量士	☆☆☆
	浄化槽管理士	☆☆☆
	建築設備士	☆☆☆☆
技能講習・特別教育等	第1種衛生管理者	☆☆
	2級建設業経理事務士	☆☆
	玉掛け技能講習	—
	高所作業車技能講習	—
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	—
	ガス溶接技能講習	—
	車両系建設機械運転技能講習	—
	小型移動式クレーン技能講習	—
	石綿作業主任者技能講習	—
	有機溶剤作業主任者	—
	地山の掘削及び土止め支保工掘削作業主任者	—
	ボイラー掘付工事作業主任者	—
	足場の組み立て等作業主任者	—
	職長・安全衛生責任者教育	—
	小型車両系建設機械運転特別教育	—
	自由研削砥石取替等の業務に係わる特別教育	—
	アーク溶接等の業務特別教育	—
	貯水槽清掃作業監督者講習会	—



3. 企業が求める人物像について

忍耐力

困難にぶつかったときでも、自ら考え行動し乗り越えられる。

協調性

顧客・上司・同僚・部下との関係を大切にし、力を合わせられる。

責任感

どんな業務にも当事者意識を持って、最後までやり遂げることができる。



建築業界でキャリアを積み重ねる為に必要な能力

建築技術力 (国家資格)

自らの技術力を客観的に証明してくれるのが国家資格
資格と経験の積み重ねで信頼を得る

危険予知能力

危険の原因にいち早く気づき、大きな事故に発展する前に原因を取り除く危険予知能力は円滑に仕事を進める上で重要

問題解決能力

現場では色々な問題が起こる。利害者間と調整し、早く問題解決出来れば信頼を勝ち得ることが出来る。気配りが大切。

コミュニケーション力

依頼主、他社の社員、役所関係者、近隣住民と多くの人と係わる仕事。工事を円滑に進める為にも必ず必要な能力

建築愛
やりがい

説明交渉上手

交渉説明が上手ければ、有利に仕事を進めることが出来、会社に利益を生み出す
要点を簡潔に伝える能力が最重要である

計算能力

図面から必要材料を拾い出し、原価計算、構造計算 多くの計算が必要になる。
現場で簡単な暗算が出来るよう日々鍛錬

整理整頓

書類、資料、道具、車内、残材の整理整頓が出来ず、頻繁に注意されると要注意人物になる。整理整頓上手は段取り上手！

強いメンタル 健康な身体

工事中も完成後も現場には多くの心配事が絶えない。任務完遂する強いメンタルと身体が必要。

職人の心得

現場の仕事は、常に危険と隣り合わせ

一瞬の気の迷いが大きな事故につながる

現場では様々な職人が、ひとつの建物を完成させるために力を合わせている

腕、技術、知識だけでなく、人と協調でき、信頼され初めて「職人」を名乗れる

経験を重ねた職人ほど、謙虚でおごらず、目の前の仕事に一所懸命打ち込みます

心得十ヶ条 生涯、技で生きていく

- 1. 挨拶すら出来ない者は現場に入るべからず**
- 2. 失敗は恐れず。ケガを恐れろ。**
- 3. 安全器具着用しない者は現場に入るべからず**
- 4. 現場の整理整頓を肝に命ずべし**
- 5. 材料や機器は、決して手荒く扱うべからず**
- 6. 乱れた身なりは、腕の乱れに通ずと知れ**
- 7. ゴミを見て見ぬ振りをするべからず**
- 8. 工事過程も完成物の一部と心得よ**
- 9. 腕磨きに終わりなし、常に高みを目指せよ**
- 10. 職人の誇りを、決して忘るるべからず**

先輩社員による現場指導 技能継承



施工前確認

ツールボックスミーティング

当日の作業、段取り、問題点
について話し合います。
お互いの体調も確認します



4. これから学んでほしいこと

①社会、業界のこと

40 万人／年人口減（宮崎市同じ）
少子高齢化、財源不足に伴う業界
の縮小、採用難による競争激化
テクノロジーの発達



今後、皆さんが同じ会社で働き続ける可能性は
限りなく低い。業界、地域、就職先を選択する目
利き力がとても重要になってくる

紹介で就職先を選ぶことに加え、自らインターン
シップ等で企業と接し、就職先を探す積極性大切

②今いる仲間と更に信頼関係を築くこと
社会との接点、コミュニケーションを取ること
在学中に技術の研鑽を通じて学び合った仲間
との関係は、卒業後、人生の大きな財産、人生
の支えとなる
一人では、豊かな人生、仕事も充実しない
仕事は、多様な環境の取引先、社員、協力会社
との関わり合いが重要となる
信頼関係が仕事のミスを防ぎ、スピードに繋がる。
結果として、業務評価に大きく影響する
アルバイト等を通じ、社会と繋がる経験大切！

③何のために、いま、ここにいるのか？

何のために働くのか？

どのような人生を送りたいのか？

今一度、考えながら学生生活を送ること

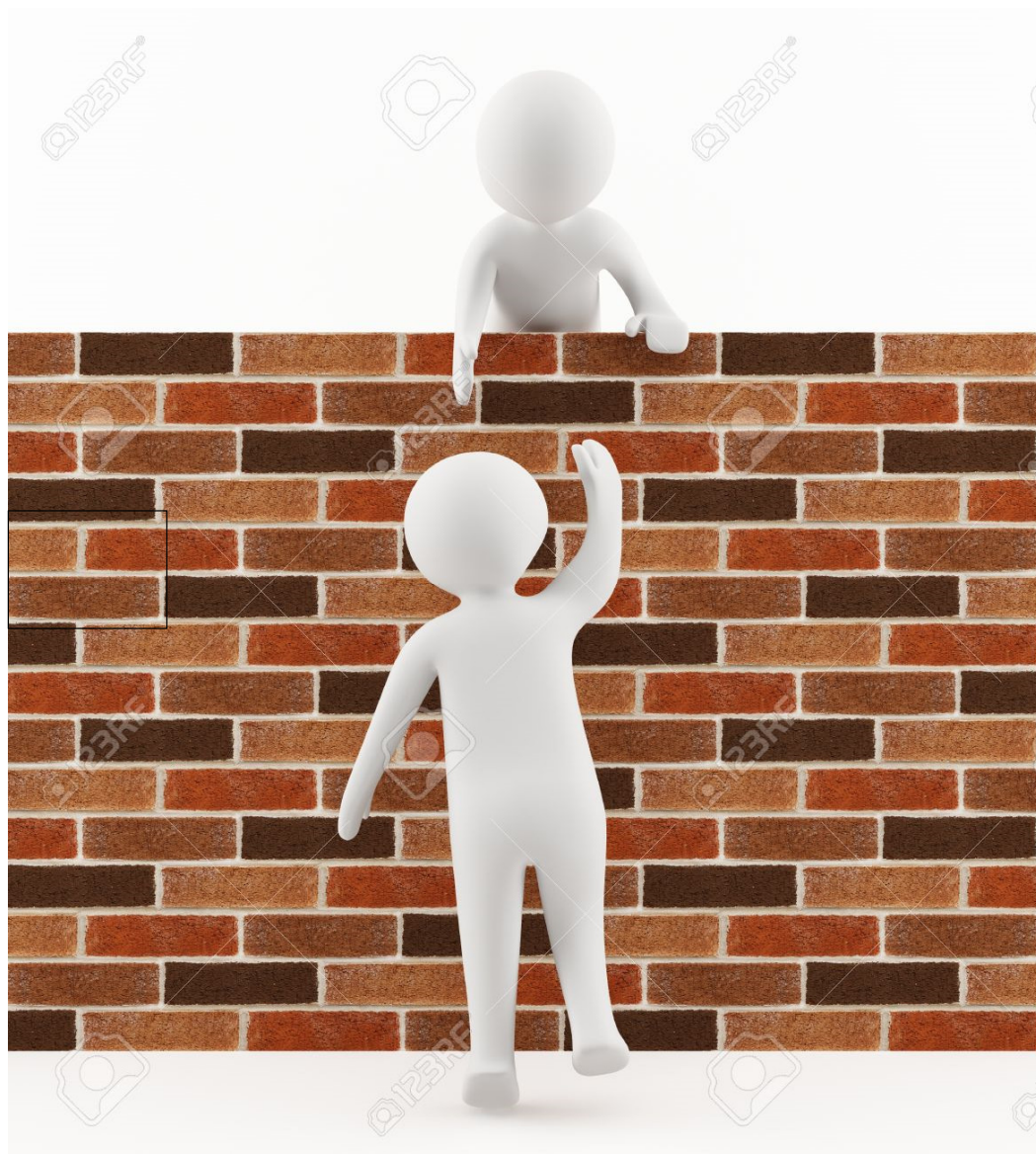
働く→自己研鑽→他者・社会貢献

自分の仕事が、傍（はた）を楽にする

多くの人から必要とされること

他者への貢献が、社会貢献に繋がり、地域に選ばれる企業となっていく

自分の考える生き方と合う会社を選ぶこと



目標が高いほど、現れる壁は大きく乗り越えるのが困難になる。

逃げずに、孤独と戦いながら幾つもの壁を乗り越えていけば、向こう側で色々な人が応援してくれる

一歩踏み出そう！！

最後に

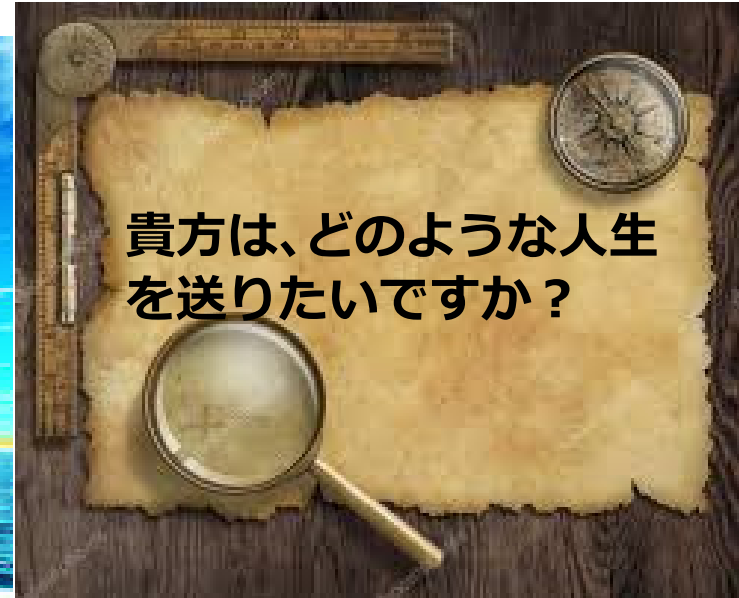
素晴らしい人生を送るために必要なこと

それは、

「今、目の前にあるものに全力を注いで生きる」



pixta.jp - 2768716



人生という大海原に漕ぎ出す時にその船が誰のものであるのか、自分が船長か船員か、船は大きいか小さいかなんて実はどうでもいい。

大事なのは、その船が何を目的として航海するか。人生の目標を持った時から貴方の人生は始まる。

目標をしっかりと持てば、「今日を生きる」という確固たる生き方が出来る



地元、宮崎で一緒に働こう！！

ご静聴ありがとうございました！！